

山形県感染症発生動向調査 週報

2026年 第2週
(2026年1月5日～2026年1月11日)

2026年1月15日 発行

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)
TEL.023-627-1109

< 定点把握感染症 >

定点種別	感 染 症	全 国	山 形 県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積 (県)
		第1週	第1週	第2週	増減	第1週	第2週	増減	第1週	第2週	増減	第1週	第2週	増減	第1週	第2週	増減	第1週	第2週	増減	
急性 呼吸器 感染症	内科・小児科 (定点医療機関数)		(39)			(7)			(10)			(4)			(6)			(12)			
	インフルエンザ	33217 10.35	265 9.46	268 6.87	▼	27 5.40	31 4.43	▼	89 ◎12.71	104 ◎10.40	▼	68 ◎22.67	50 ◎12.50	▼	47 7.83	40 6.67	▼	34 4.86	43 3.58	▼	533
	新型コロナウイルス 感染症(COVID-19)	3629 1.13	68 2.43	88 2.26	▼	4 0.80	14 2.00	△	34 4.86	36 3.60	▼	9 3.00	6 1.50	▼	20 3.33	26 4.33	△	1 0.14	6 0.50	△	156
	(定点医療機関数)		(26)			(6)			(7)			(3)			(3)			(7)			
小児科 定点	RSウイルス感染症	677 0.35	7 0.35	13 0.50	△	1 0.20	2 0.33	△	1 0.20	3 0.43	△	1 0.50		▼	4 1.33	8 2.67	△				20
	咽頭結膜熱	255 0.13	11 0.55	18 0.69	▲	4 0.80	5 0.83	▲		3 0.43	△		1 0.33	△	6 2.00	4 1.33	▼	1 0.20	5 0.71	▲	29
	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	1600 0.82	25 1.25	91 3.50	△	11 2.20	29 4.83	△	2 0.40	15 2.14	△				11 3.67	36 ◎12.00	△	1 0.20	11 1.57	△	116
	感染性胃腸炎	3708 1.90	14 0.70	98 3.77	△	1 0.20	16 2.67	△	2 0.40	24 3.43	△	1 0.50	6 2.00	▲	7 2.33	28 9.33	△	3 0.60	24 3.43	△	112
	水痘	493 0.25	8 0.40	14 0.54	▲	2 0.40	1 0.17	▼	2 0.40	9 ◎1.29	▲				4 ◎1.33	3 ◎1.00	▼		1 0.14	△	22
	手足口病	68 0.03																			0
	伝染性紅斑	210 0.11	6 0.30	16 0.62	△					6 0.86	△	2 ◎1.00	9 ◎3.00	△	3 1.00	1 0.33	▼	1 0.20		▼	22
	突発性発しん	141 0.07	2 0.10	14 0.54	△	1 0.20	2 0.33	▲		3 0.43	△		1 0.33	△		5 1.67	△	1 0.20	3 0.43	△	16
	ヘルパンギーナ	18 0.01																			0
	流行性耳下腺炎	22 0.01		1 0.04	△		1 0.17	△													1
眼科 定点	(定点医療機関数)		(8)			(1)			(3)			(1)			(1)			(2)			
	急性出血性結膜炎	3 0.01																			0
	流行性角結膜炎	68 0.13	1 0.17	9 1.13	△				6 2.00	△	1 1.00	1 1.00						2 1.00		△	10
基幹 定点	(定点医療機関数)		(10)			(2)			(2)			(1)			(2)			(3)			
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	4 0.01																			0
	クラミジア肺炎																				0
	マイコプラズマ肺炎	205 0.43	5 0.50	7 0.70	△	3 1.50	2 1.00	▼		2 1.00	△							2 0.67	3 1.00	△	12
	細菌性髄膜炎	8 0.02																			0
	無菌性髄膜炎	14 0.03																			0

・表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

・定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

< 通 信 欄 >

○第2週から定点医療機関数は通常に戻ります。
○トピックスに、「今、特に注意が必要な感染症」について掲載
しています。
○2026年の週報・月報発行予定日を週報掲載ページにアップ
しました。

警報・注意報の基準値(参考値)

疾 病 名	警報レベル		注意報 レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

令和7年第15週から、国の新しい基準が発出されるまでの間、
警報・注意報の基準値については参考値として取り扱います。

- ・定点把握感染症の定点当たり報告数グラフ・全数把握感染症の
年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。
- ・ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。
- ・感染症のCSVデータは、衛生研究所HPからダウンロードできます。

<定点把握感染症 年齢別報告数>

種別点	感 染 症															合計
急性呼吸器感染症定点	内科・小児科	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
	インフルエンザ	3	8	6	14	6	10	5	11	10	4	12	36	18	31	268
		30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									
		24	22	15	12	13	8									
	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	88
		1	7	8	1		1	3	3	1			7	3	4	
		30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									
		10	4	13	11	3	8									
小児科定点	RSウイルス感染症	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	13
	咽頭結膜熱		1	8	3	3	1		1						1	18
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				4	9	7	12	15	13	5	8	13	1	4	91
	感染性胃腸炎	1	5	15	12	10	4	8	7	4	4	8	12	3	5	98
	水痘			1				1		5	4	2	1			14
	手足口病															0
	伝染性紅斑			1	1	2	2	3	5		1	1				16
	突発性発しん		4	10												14
	ヘルパンギーナ															0
	流行性耳下腺炎												1			1

<全数把握感染症>

感 染 症	報 告 数					備 考
	山形市	村山	最上	置賜	庄内	
結核	1					
レジオネラ症	1					
後天性免疫不全症候群 (HIV感染症を含む)	1					
百日咳	1				1	ワクチン接種歴:4回(1)、不明(1)

<トピックス>

今、特に注意が必要な感染症

<インフルエンザ>

第2週におけるインフルエンザの県定点当たり報告数は6.87で、7週連続の減少となりました。また、型別ではA型が主流ですが、B型が増加してきました。インフルエンザは感染力が非常に強く、短期間に多くの人へ感染が広がるため、注意しましょう。

図1 インフルエンザ定点当たり報告数 (全国及び山形県過去3シーズンとの比較)

図2 インフルエンザ型別報告数及びB型報告割合

【迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数】
A型:173件、B型:93件、不明:2件 (定点医療機関からの報告)

【インフルエンザウイルス検出状況 (衛生研究所 2025.9.1～2026.1.6)】
AH1pdm09:8件、AH3:200件、B型:2件
(今シーズン2025年36週～の患者検体より)

<新型コロナウイルス感染症>

第2週における新型コロナウイルス感染症の県定点当たり報告数は2.26でした。例年、冬季と夏季に報告数の増加がみられるので注意が必要です。

図3 新型コロナウイルス感染症 山形県・全国定点当たり報告数の推移 (2024年第1週～2026年第2週現在)

<予防>

これらの感染症の予防には「手洗い」「マスクの着用を含む咳エチケット」や、室内を加湿器などを使って適切な湿度(50～60%)に保つことが有効です。また、室内では十分な換気が重要ですので、こまめに換気を行いましょう。

2

【急性呼吸器感染症サーベイランス(症候群サーベイランス)】

<定点把握感染症>

感 染 症	全国	山 形 県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積 (県)
	第1週	第1週	第2週	増減	第1週	第2週	増減	第1週	第2週	増減	第1週	第2週	増減	第1週	第2週	増減	第1週	第2週	増減	第1～2週
急性呼吸器感染症定点 内科・小児科 (定点医療機関数)		(38)			(7)			(10)			(4)			(5)			(12)			
急性呼吸器感染症	93633	1063	2108	Δ	220	430	Δ	201	425	Δ	222	333	Δ	282	439	Δ	138	481	Δ	3171
	29.12	39.37	55.47		44.00	61.43		28.71	42.50		74.00	83.25		56.40	87.80		19.71	40.08		

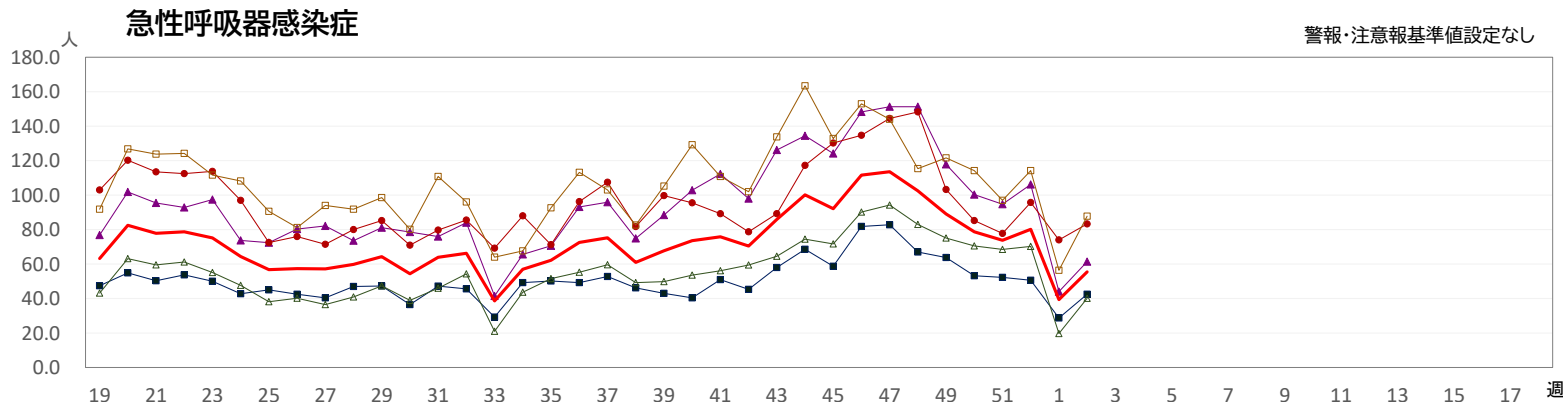
・表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

・定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

<定点把握感染症 年齢別報告数>

感 染 症	山 形 県												
	第2週												
急性呼吸器感染症定点 内科・小児科	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
急性呼吸器感染症	171	698	429	168	68	89	98	90	73	80	68	76	2108

<定点当たり報告数グラフ>

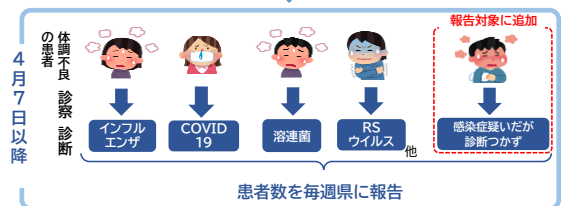
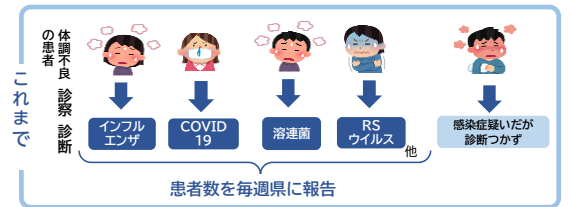
急性呼吸器感染症(ARI)
サーベイランスについて

平時より、①流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、②未知の呼吸器感染症が発生し増加し始めた場合に迅速に探知する体制の整備、③国内の急性呼吸器感染症の発生状況について、国民や医療関係者の皆様へ情報が共有できる体制を整備するために、急性呼吸器感染症が4月7日から五類感染症に位置づけられ、サーベイランスが始まりました。

ARIサーベイランスは、症例定義※に一致する患者数の発生を把握する症候群サーベイランスです。

※咳嗽(がいそう)、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

ARIサーベイランスにおける対象感染症は、インフルエンザ、COVID-19、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に加え、新たに五類感染症に位置づけられた「(診断名のつかない)急性呼吸器感染症」となります。



詳しくは
厚生労働省HPへ▶▶

